


ハンセン病

ジャンル	題名	イメージ	概要	対象	収録時間	制作年	字幕	副音声	解説書	No.
ハンセン病	ハンセン病問題 ～過去からの証言、 未来への提言～		かつてハンセン病は「らい病」と呼ばれ、約90年にもわたり隔離政策がとられていました。病気に対する医学的な認識も、法律も変わりましたが、いまだに偏見や差別が存在し、課題は残されています。この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。	一般(人権教育・啓発担当者)	76分	平成27年(2015年)	有	有	有	74
ハンセン病	未来への虹 ～ぼくのおじさんは、 ハンセン病～		2003(平成15)年11月、熊本県内のホテルでハンセン病療養所入所者らが宿泊を拒否されました。また、この事件を契機として、一般の人からの心ない誹謗と中傷にさらされました。これらの出来事は、ハンセン病に対する理解不足と、ハンセン病患者・元患者に対する偏見や差別が根強く残っていることを明らかにするものでした。このような偏見や差別をなくすためには、ハンセン病に対する正しい知識を深めるとともに、ハンセン病患者・元患者が国の隔離政策によりどんなに身体的、精神的苦痛を与えられてきたかを広く社会の人たちに認識してもらう必要があります。この作品は、ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本「ぼくのおじさんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー」をもとに、小学校高学年以上の方に見てもらうことを目的として作られたものです。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみ、帰りたいとも帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけています。	少年・一般	30分	平成17年(2005年)	有	有	有	77
ハンセン病	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～		隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	一般	34分	令和2年(2020年)	有	有	有	87